

牛久：学校周辺に見る自然

第21号 みずべ公園（ひたち野西近隣公園）

2016年1月24日発行

＜ 冬の自然観察 ～みずべ公園・動物編～ ＞

みなさん、こんにちは。前号では、私の故郷飯岡の海からの初日の出をお届けしましたが、いかがでしたか？ 今回は、時々歩いているみずべ公園の、1月14日に観察した冬の生きものたちのようすをお届けしたいと思います。皆さんも、近くの公園などを歩いて、生きものたちがこの厳しい冬をどうやってしのいでいるか、観察してみませんか？もちろん、防寒対策をしっかりとったうえで。



頭をもぐらせて、えさを食べる??? その正体は…?



池をながめると、逆さになって頭を沈め、しきりにえさを食べている鳥たちがいました。じっと見ていると、息つきなのか起きあがったり逆さになったりをくり返しています。

その正体は、冬鳥のオカヨシガモでした。この冬は、特にこのカモが多いように思います。逆に昨年よく見かけたハシビロガモは、この日はあまりいませんでした。←息つきに起きあがったり(左)、逆さになったり(右)をくり返します。

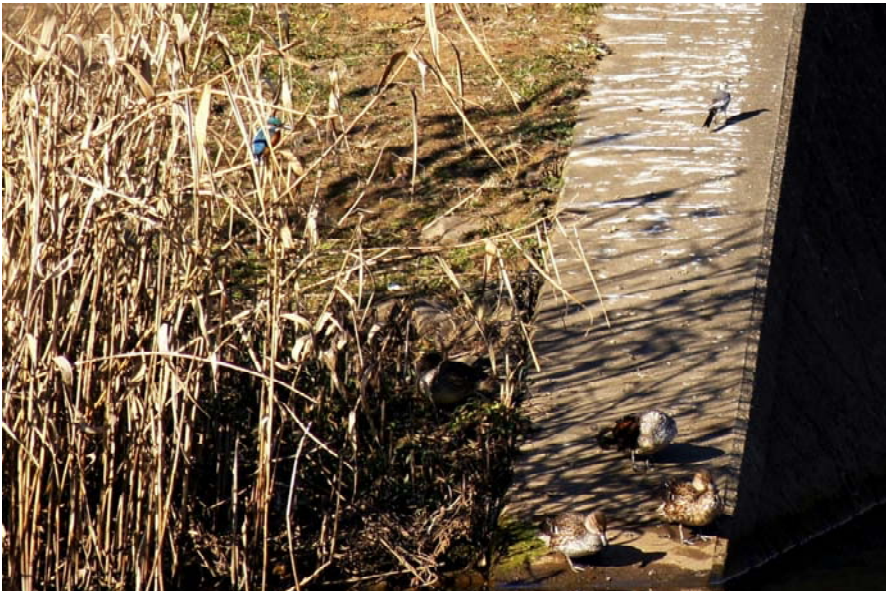


冬鳥の、オカヨシガモでした。この冬は、特によく見かけます。



冬鳥のコガモ(左)と、ツグミ(右)。

こちら、みずべ公園に行けば必ず見られる冬鳥のカモ、コガモです。頭が赤茶色で、目のまわりまわに緑おびの帯があるのがオスです。林や草はらには、同じく冬鳥のツグミが来ていました。



大きなサギ、アオサギ(左上)。
コバルトブルーのカワセミ(右上)。
ヨシかくに隠れるシジュウカラ(左中)。
枝をつつきえと餌を探すコゲラ(右中)。
3種類の鳥が…。探してみよう(下)。

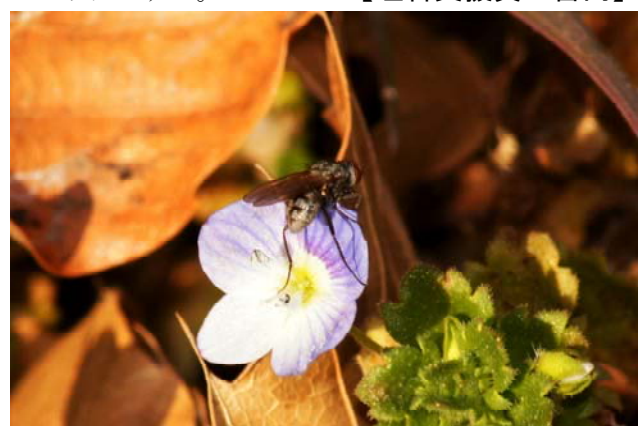
その他、一年中この辺にいる鳥ですが、アオサギ、カワセミ、シジュウカラ、コゲラなども見られました。さて、ここで問題、左の写真には3種類の鳥が写っていますが、どこに何がいるでしょう？



卵^{たまご}で冬をこす、昆虫やクモの仲間^{なかま}がいました。ハラビロカマキリ(上)と、マイマイガ(左下)、ジョロウグモ(右下)。

続いて、昆虫^{こんちゆう}やクモ。秋までにあれだけ多く見かけた虫たちは、どこに行ってしまったのでしょうか？今回は卵^{たまご}で冬をこしているものを紹介^{しょうかい}します。イヌシデの小枝^{こえだ}に着いていたのは、ハラビロカマキリの卵^{らん}のう。主に木の上で生活するからか、幹^{みき}や枝に着いていることが多いですね。コナラの太い枝の下側には、マイマイガ^{らん}の卵^{らん}かいはありました。これなら雨もしのげますね。同じくコナラの幹^{みき}にあったのは、ジョロウグモ^{らん}の卵^{らん}のう。意識^{いしき}して探すと、いろいろ見つかりますよ。

最後に、冬でも陽射し^{ひざ}があると咲^さいているオオイヌノフグリ^{ななかま}に来ていたハナバエの仲間。他の花にも、花粉^{かふん}や蜜^{みつ}を求めてハエやハナアブが来ていることがありますよ。 【理科支援員：宮内】



陽射しを受けて咲いていたオオイヌノフグリの花粉をなめるハナバエの仲間。